

第33回 「中四国精神保健福祉士大会【高知大会】」開催要領

大会テーマ：今こそ地域に出る、地域を考える

～福祉課題先進県でPSWの地域実践を考える～

【趣旨】

精神障がい者の地域移行・地域定着に向けて制度やサービス、その他の社会資源の整備が進む中、PSWは当事者や家族、他の専門職者とともに地域に出ていることができますか。

支援や制度が一見充実したかに見える一方で、地方においては少子高齢化や過疎とそれに伴う地域資源の偏在化が目立ってきています。なかでも高知県をはじめとする福祉課題先進県と呼ばれる地域では、その傾向がより際立っています。資源が集中している場合もあれば、制度が出来ても運用するための人や場がない、サービスや資源はあっても遠すぎて使えない、これらは珍しいことではなく、「地方のあたりまえ」の現状であり、日本の抱える一つの姿です。

すでにある社会資源や、制度の枠組みの中でマネジメントするだけでなく、一人ひとりの「生活」を通して「地域」の課題やニーズを見極め、日々の実践を評価し、それに基づいて共に当事者の希望や幸せを実現するための地域づくりを展開していく。こうした、かつて当事者とのかわりの中からとらえたニーズに、当事者や家族、市民、他職種と協働しながら、社会資源や支援のモデルを1つずつ作り上げて応えてきたPSWの実践とその価値を「地域」というフィールドで今一度取り戻す必要があります。

福祉課題の先進県だからこそ、その課題解決を先駆的に進めるよう、PSWが「今こそ地域に出る、地域を考える」ことに本気で取り組むきっかけを作ることが、高知大会のメインテーマです。

【日時】 平成29年11月25日（土）～11月26日（日）

【場所】 高知会館（高知市本町5-6-42）

【主催】 高知県精神保健福祉士協会

第33回 中四国精神保健福祉士大会実行委員会

【後援（予定）】（順不同）

高知県・高知市・高知県精神科病院協会・一般社団法人日本精神科看護協会高知県支部・公益社団法人日本精神保健福祉士協会・高知県精神障害者家族会連合会・高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会・高知県精神神経科診療所協会・高知県断酒連合会・高知県精神保健福祉協会・一般社団法人高知県作業療法士会・高知県介護福祉士会・高知県臨床心理士会・社会福祉法人高知県社会福祉協議会・一般社団法人高知県社会福祉士会・高知県医療ソーシャルワーカー協会・一般社団法人日本ソーシャルワーカー教育学校連盟・一般社団法人日本精神保健学会

【対象者】

中四国各県の精神保健福祉士協会会員等

【参加費】

・プレ企画（学生）	500 円
・プレ企画（精神保健福祉士）	1,000 円
・各県精神保健福祉士協会会員及び （社）日本精神保健福祉士協会構成員	7,000 円
・上記以外の精神保健福祉士資格所持者	8,000 円
・一般の方（1日目のみ）	4,000 円
・当事者・家族・学生（1日目のみ）	2,000 円
・懇親会	6,000 円

【内容・日程】

11月25日（土）

9:30~10:00	プレ企画受付
10:00~12:00	プレ企画（学生交流企画・ASW協会共催企画） 「ハマったら困るきね！依存について知ろう！」
12:00~13:00	受付
13:00~13:30	開会式
13:30~15:00	基調講演 講師：岩上 洋一氏（特定非営利活動法人じりつ 代表理事） 「今こそ地域を創る！-精神障害者の地域生活支援の未来を展望する-」
15:00~15:15	休憩
15:15~17:00	シンポジウム 報告者：3名（他専門職）
18:30~20:30	懇親会

11月26日（日）

9:00~9:30	各分科会受付
9:30~12:00	分科会1 テーマ「実践報告（1）」 分科会2 テーマ「実践報告（2）」 分科会3 テーマ「地域移行推進」 分科会4 テーマ「若手PSW企画」
12:00~12:30	閉会式
13:00~14:30	各県連絡会

以上